



山都警察署・署協議会だより

TEL 72-0110

熊本県警のホームページ
http://www.pref.kumamoto.jp/police/
管内の犯罪・交通事故の発生状況、県警から
のお知らせ等が掲載中です。

梅雨時期の到来!! ~日頃から万全な備えを~

一昨年は、熊本地震及び6月の大雨により、山都町内でも一時孤立世帯が出るなど甚大被害を受けました。まだまだ、町内各地で道路復旧工事など様々な復興工事が行われている中で、今年も梅雨時期を迎えることになり、例年以上の注意が必要です。日頃の備えや避難要領の確認をして、いざという時の災害に備えましょう。



最低3日分は確保!!

災害時の必需品



- 貴重品：現金、通帳、印鑑、健康保険証、免許証など
- 非常食等：レトルト食品、缶詰、ミネラルウォーターなど
- 携帯ラジオ、懐中電灯、携帯電話等の充電器材など
- 電池、ライター、固形燃料、ティッシュ、ラップ、ビニール袋など
- その他：ヘルメット、簡易トイレ等防災用品、衣類、タオル、雨具など

※「非常持ち出し袋」を準備して、目に付きやすいところにおいておきましょう。



予防的避難の重要性

予防的避難とは、夜間等に大雨が予想される場合に、危険の差し迫っていない屋間など日没前の明るい段階で避難を行うことで、「空振りをおそれずに避難する」という考え方が重要となってきます。

このくらいなら大丈夫だろうと安全を過信することなく、危険が迫る前の明るい時間帯の避難に心掛けてください。

安易な登山は要注意! ~山岳遭難の防止~

暖かくなり、気軽に登山、ハイキングなどを楽しむ季節となりました。万全な計画と装備で安全に登山を楽しみましょう。

登山前の安全チェック!!

- 1 登山届の提出は済んでいますか。
- 2 家族や知人に登山日程を連絡しましたか。
- 3 余裕のある計画を立てていますか。
- 4 気象情報を確認しましたか。
- 5 雨合羽、ライト、携帯電話(予備電池も)、防寒具を携帯していますか。
- 6 食料品、飲料水は余分に用意していますか。
- 7 地図、コンパス、GPS、笛等を準備していますか。



交通安全標語 平成29年度受賞作品

・握ってる その手に命と ハンドルを
・ちょっとぐらい それが事故への第一歩

高橋 楓綾(矢部中2年)
藤本 彩加(矢部中2年)



6月は「心のきずなを深める月間」です

ぜひお子さん、お孫さんと一緒にご覧ください。

皆さんの周りには、いじめや仲間はずしはありませんか。「いじめをしている人を見て、注意をすると、自分がいじめや仲間はずしをされるから知らない振りをしておこう。」と、黙って見ている人も、いじめをしていることと同じことになります。いじめや差別は、見ようとする心がなければ見えてきません。いじめられている人の立場に立って、少し勇気を出して「いじめをやめよう!仲間はずしをやめよう!」と言ってみませんか。いじめや仲間はずしは子ども達のことだけではなく、大人社会の中にもあります。みなさんの周りをよく見てください。そして、職場や地域の中でも話し合いをしてみませんか。温かい輪をつなぎ、人と人との「心のきずな」を深めていくことで、いじめが起こらない、心の居場所となる学校、家庭、地域をつくっていきましょう。

いじめ・不登校問題などの相談窓口の紹介

相談機関名	相談時間等	電話番号
熊本県 24時間子どもSOSダイヤル	24時間	0120-0-78310 (なやみ言おう) ※ PHS、IP 電話からはつながりません
熊本県教育庁 義務教育課内相談電話	月~金 8:30~17:15	096-381-8000 FAX096-385-6718
熊本のいのちの電話	年中無休 24時間 毎月10日 8:00~翌日8:00	096-353-4343 0120-783-556 (フリーダイヤル)

問合せ先 学校教育課 ☎ 72-0443

九州電力からのお知らせ 台風時の停電に備えましょう!

■ 台風時の停電情報をチェック!

台風による停電時には、電話がつながりにくくなることがあります。台風等非常災害時の停電情報は下記のホームページでもご確認ください。

携帯電話版ホームページ
<http://kyuden.jp>

パソコン版ホームページ
<http://www.kyuden.co.jp>

九州電力 検索 [九州電力] で検索してください。

■ 停電への備え

- 強風で飛ばされるおそれがあるものは、あらかじめしっかり固定しましょう。
- 普段から分電盤の位置を確認しておきましょう。通常、分電盤は玄関・台所・脱衣所・廊下等の上部に設置されています。

停電時に必要なもの(例)

- 携帯ラジオ 懐中電灯 飲料水
- 乾電池 携帯電話の充電器(電池式)
- ため水(生活用水)

■ 災害が起きたら

切れた電線は感電のおそれがあり大変危険です。絶対に触らず九州電力へご連絡ください。備ついたり、水につかった電気器具、コードは漏電や火災の原因となります。必ず電気店などで点検ください。(注)集中豪雨時等もご注意ください。

九州電力
ずっと先まで、明るくしたい。